

# 第1章 東日本大震災を忘れない

2011 (平成 23) 年 3 月 11 日午後 2 時 46 分、三陸沖を震源とする東北地方太平洋沖地震が発生しました。

この地震で、建物や道路が壊れるなどの大きな被害に加え、東日本の太平洋沿岸部に予想をはるかに超える巨大な津波が押し寄せ、多くの尊い命が失われました。さらに、多くの人たちが避難所での生活を余儀なくされるなど、とても厳しい経験をしました。

私たちはこのできごとを教訓にし、未来につないでいかななくてはなりません。



地震・津波の被害

(写真提供: 毎日新聞社)

松林を乗り越え押し寄せる津波(名取市)



(写真提供: 登米市 / 東日本大震災アーカイブ宮城)

激しい揺れにより倒壊した家(登米市)



(写真提供: 女川町 / 東日本大震災アーカイブ宮城)

津波により大きな被害を受けた沿岸部(女川町)



混乱する人々

仙台駅前では家に帰れない人々

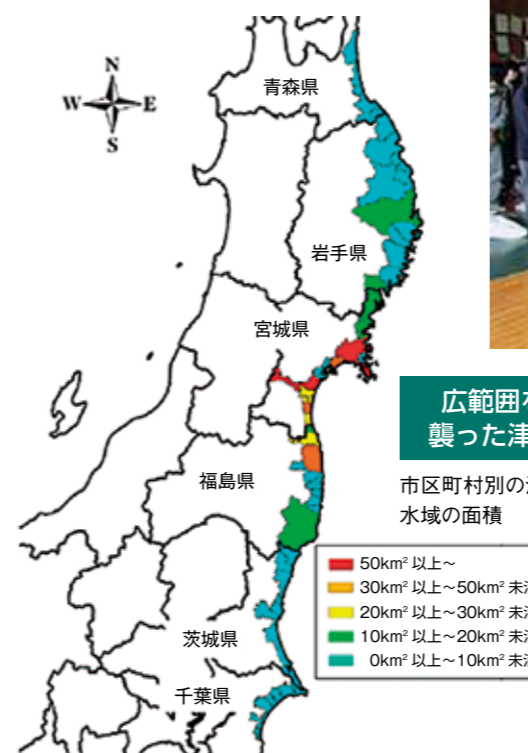
(写真提供: 朝日新聞社)

東日本大震災を伝える他県の新聞



(写真提供: 関口成人)

他県でも大きく取り上げられた新聞



(出典: 中央防災会議「東日本大震災を教訓とした地震・津波対策に関する専門調査会」参考図表集)

避難所生活

多くの人が身を寄せた避難所(名取市)



(写真提供: 名取市)

他校での学校再開

気仙沼向洋高校の生徒が気仙沼西高校に初めて登校した日



(写真提供: 外務省)

世界中からの支援

アメリカ陸軍による復旧活動(東松島市)

